



伊倉っ子  
だより

【学校教育目標】  
豊かな心と確かな学力を身に付け、  
心身ともにたくましく生きる  
児童の育成

伊倉小学校だより  
第17号  
令和8年2月10日  
文責：校長 須藤 隆

## 伊倉小の伝統のバトンをつなげて!～全校集会校長講話より～

2月2日(月)には玉南中学校説明会を、2月3日(火)には来年度入学予定の新入生を対象とした一日体験入学と保護者説明会を実施しました。次年度に向けた準備が、着実に進んでいます。

先週の2月6日(金)には全校集会を行い、「伊倉小のよいところ」について話をしました。伊倉小には多くのよいところがありますが、今回はその中から4つを紹介しました。

1つめは、「外でよく遊ぶこと」です。暑い日も寒い日も、たくさん子どもたちが外で元気に遊ぶ姿が見られます。

2つめは、「協力して頑張ること」です。運動会では、団長を中心に心をつなげて取り組みました。また、玉名市音楽会では、3・4年生が美しい歌声を響かせました。

3つめは、高学年が低学年の「お世話をする事」です。登校班では、入学してすぐの1年生をおんぶしたり手をつないだりして登校してくれました。そのおかげで、これまで大きな事故もなく登校することができています。また、掃除では1～6年生で縦割り班を作り、高学年が手本を示しながら取り組んでいます。

4つめは、「仕事にきちんと取り組むこと」です。4～6年生が行う委員会活動では、それぞれの委員会で決められた仕事に責任をもって取り組んでいます。その結果、学校のみんなが気持ちよく生活することができています。学級での係活動も同様です。

このような伊倉小のよいところは、長い間受け継がれてきた伝統だと思います。これまでの伊倉小の子どもたちが、伝統のバトンを次の世代へとつないできたからこそ、今も続いているのです。

4月には、伊倉小の伝統をまだ知らない新入生が入学してきます。正しい姿を見せれば、正しく受け継がれます。反対に、よくない姿を見せれば、誤って伝わってしまいます。ぜひ、よい手本を示し、伊倉小の大切な伝統をこれからもつないでいってほしいと思います。



縦割り班掃除の様子



栽培委員会が朝、花に水やりをしている様子

## 校長室から ～熊本県学力・学習状況調査の結果から～

右の二つのグラフは、12月に実施された熊本県学力・学習状況調査における、学習習慣や生活習慣等に関する調査結果の一部を抜粋し、グラフ化したものです。

上のグラフは、1日のゲーム・動画・インターネットの使用時間について、伊倉小学校と全国の状況を比較したものです。全国と比べると、「2時間以上」と回答した児童が多く、「1時間以下」と回答した児童が少ない傾向が見られます。

下のグラフは、平日における家庭での学習時間を、伊倉小学校と全国で比較したものです。全国に比べ、「1時間以上」と回答した児童は少なく、「30分以下」と回答した児童が多いことが分かります。

ゲームや動画、インターネットの使用時間が学習時間に与える影響については、マスコミ等でも取り上げられており、すでにご存じの保護者の方も多いことと思います。今回の調査結果から、伊倉小学校の児童においても、その影響が大きいことが明らかになりました。

漢字や九九、四則計算などの基礎的な学習内容は、繰り返し学習することで定着していきます。しかし、学校での学習時間には限りがあり、十分な反復が難しい面もあります。そこで伊倉小学校では、「家庭学習の手引き」を作成し、発達段階に応じた家庭での学習内容や学習時間の目安を示しています。別途添付しておりますので、ご確認いただき、ご家庭での声かけや見届けをお願いします。なお、調査結果につきましては、2月19日(木)の学級懇談会において、担任より説明します。

